

| 科 目           | 英 語                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題意図<br>全体    | 高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。                                                                             |
| 出題意図<br>リスニング | 人文学部1部英米文化学科ではリスニング問題がありました。Part 1 は資料を参照しながら、英語による説明（講義、放送文）を聞き、重要な情報を理解できたかを問う問題でした。Part 2 は、長い会話文を意味のまとまりごとに聞き、会話の場面や主題を聞き取る問題です。Part 3 は短い会話文を聞き、会話で述べられていた情報、会話内容なら類推できるメッセージを聞き取る問題です。                   |
| 出題意図<br>1     | 1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。 |
| 出題意図<br>2     | 定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出しして問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。                  |
| 出題意図<br>3     | 英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。                                                                                                               |
| 出題意図<br>4     | 話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。                                                                                                                             |

| 科 目       | 英 語                                                                                                                                                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題意図<br>5 | 空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の間関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。 |
| 出題意図<br>6 | さまざまなジャンルの短めの文章について、特定の情報を読み取る、読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について、限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。                                                      |

| 科 目       | 日本史                                              |
|-----------|--------------------------------------------------|
| 出題意図<br>1 | 東寺百合文書の一部を用いて、鎌倉時代の政治・幕府の役職や、同文書に関する基本事項を問う問題です。 |
| 出題意図<br>2 | 室町時代の経済に関する基本事項を問う問題です。                          |
| 出題意図<br>3 | 江戸時代後期から明治時代における学校教育に関連する基本事項を問う問題です。            |
| 出題意図<br>4 | 戦時期における経済統制に関連する基本事項を問う問題です。                     |

| 科 目        | 世界史                                                                                                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題意図<br>全体 | <p>高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものです。</p>                                                                                             |
| 出題意図<br>1  | <p>ローマ共和政とその地中海征服を範囲とした問題です。前者に関してはローマ共和政の基礎知識を問うており、後者に関してはローマと関わった他地域について扱っています。ギリシア・ローマ文化に関する設問もあり、全体として政治に限定されないようになっています。</p>                    |
| 出題意図<br>2  | <p>現在、中国と台湾の関係が緊張状態にあります。台湾に割拠して反清復明を目標に活動した鄭成功は、今日でも台湾では民族の英雄、台湾開発の始祖として高く評価されています。本問では、清の勃興と明の滅亡の経緯、鄭成功など反清復明をはかった勢力についての知識を測りました。</p>              |
| 出題意図<br>3  | <p>19世紀の欧州列強の東南アジアに対する帝国主義的進出を問う問題です。インドネシアに対するオランダ、マレー半島やビルマに対するイギリス、インドシナに対するフランスのそれぞれの出について、中国やインドとの関わりも絡めながら、包括的な理解を測ることを目指すものです。</p>             |
| 出題意図<br>4  | <p>本学の世界史は、高校教科書準拠を旨としますが、本問題は村田奈々子氏のエッセイに基づき、19世紀から20世紀初頭にかけてオスマン帝国が弱体化、解体、国民国家の時代に至る過程をリード文に使いつつ、バルカン半島をめぐるより長いスパンの歴史に関する理解を問うのが、この問題の意図するものです。</p> |

| 科 目       | 地 理                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題意図<br>1 | 大気大循環のメカニズムと気候要素に関する問いです。全球的な気候帯と地域の気候の特徴がなぜ成立するのかを理解するための基本的な内容です。                                                |
| 出題意図<br>2 | 北関東を中心に、地域の環境と特産品（伝統工芸品）について問う問題です。教科書を読み込むことはもちろんのこと、統計をしっかりと読み解き、論理的に推測する力を身につけましょう。                             |
| 出題意図<br>3 | 東南アジアの自然や歴史、宗教、近年の経済政策などを網羅的に問い、特定の分野のみならず総合的に理解できているかを確認することを意図している。教科書の内容を正確に理解することに加え、資料集などの解説も読み込んでおくことが必要である。 |
| 出題意図<br>4 | 地域調査と統計地図に関する基礎的な知識を問う問題です。教科書や用語集の読み込みは必須ですが、実際に地域調査をおこなってみることで理解がさらに深まるでしょう。                                     |

| 科 目       | 政治・経済                                                                                                                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出題意図<br>1 | 国民所得と経済成長，家計に関する設問です。一部に時事的な問題を含みますが，基本的には教科書に記載されている内容を問うものです。「暗記」ではなく用語の定義から思考する問題（例：問7）や，基本的な理解をベースに思考する問題（例：問8c）を含みますので，単語・用語の知識だけでなく，その内容の理解が必要になります。 |
| 出題意図<br>2 | 議員のなり手不足問題を問う時事問題です。地方自治の根幹と位置付けられる地方議会については課題も多く指摘されていますが、地域に不可欠の存在です。                                                                                    |
| 出題意図<br>3 | 新しい人権の分野からの出題です。現代社会において、どのような新しい人権が基本的人権を拡充するものとして主張されているのかをはじめ、そうした新しい人権をめぐる法制の特徴や主な内容について理解しているかを確認するために出題しました。                                         |

| 科 目               | 国 語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>出題意図<br/>一</p> | <p>日本語のモダリティ研究者である滝浦真人の『日本語は親しさを伝えられるか』から、あいさつ文化に関する部分を問題としました。本書は比較的平易な文章ですが、日本語の「あいさつ」の持つ意味や機能について、日本の文化的背景にとどまらず、コミュニケーションの一般理論という専門的な視点からも深く考察しています。日本語のあいさつが持つ、礼儀作法としての対人距離を広げる役割と人と親密になるための相反した役割の対比、また、コミュニケーションの理論的枠組みにおいて、交話的機能（対人関係の調整や円滑化を図る機能）と指示機能（情報の伝達を主目的とする機能）の対比を適切に理解することが求められます。問題では、これらの二重の対比が、日本のあいさつ文化においてどのように機能しているのかを正確に読み取ることが重要なポイントとなります。</p> |
| <p>出題意図<br/>二</p> | <p>問題文は、人類学者である著者が、人間のコミュニケーションの歴史とその変容について述べるものです。平易な文体ではありますが、一文一文を丹念にたどらなければ、著者の主張の流れについていくのは難しいでしょう。本文の内容をおおざっぱに把握するだけにとどまっていないうか、やや抽象的な著者の表現の指し示す内容を、論理的に正確に理解できているかを問いました。本文の内容を説明する問題では、本文中の表現を拾って繋ぎ合わせただけの選択肢を選ばないことが求められます。また、理由を問う問題では、まず何が問われているのかを明確にすることが必要です。</p>                                                                                            |
| <p>出題意図<br/>三</p> | <p>鎌倉時代の仏教説話集である『沙石集』からの出題です。問一は文脈に即した古語の意味を問う問題。問二は文法問題。「む」の識別を出題しました。問三は主語を問うもの。問四は読解問題。問五・問六は、文章読解の問題です。いずれも基本的な古典文法や古語を抑えたうえで、それらが文章の中でどのような意味で用いられているのかを考えると良いでしょう。</p>                                                                                                                                                                                               |